

グラフで見るベトナム経済 2024年12月号(No. 179)

ベトナム景気は回復の動きが鈍いものの、一部に持ち直しの動きがみられる。11月の指標をみると、個人消費の動きを表す小売売上高は前年比+8.8%と4か月ぶりに増勢が拡大した。内訳をみると、観光が前年水準を上回り、宿泊・飲食も2桁増に回復した。鉱工業生産も、電子製品・コンピューター・光学製品の増産などから、同+8.9%と前月に比べて伸びが高まった。一方、輸出は同+8.2%と4か月連続で減速した。また、製造業PMI(中立水準は50)は50.8と前月を下回り、製造業の景況感も改善の動きが若干鈍くなっている。

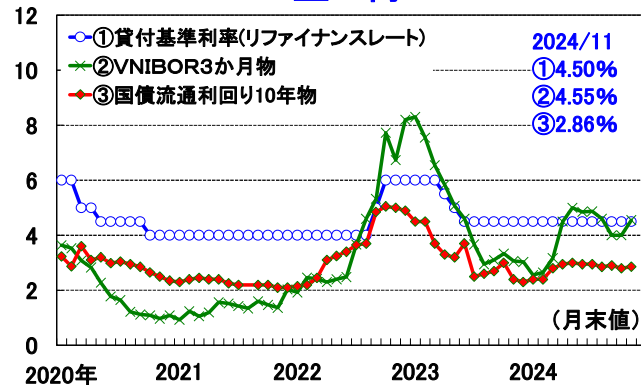
【足元の景気判断】

指標	景気全般	輸出	小売売上高	鉱工業生産	製造業PMI
判断結果					

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

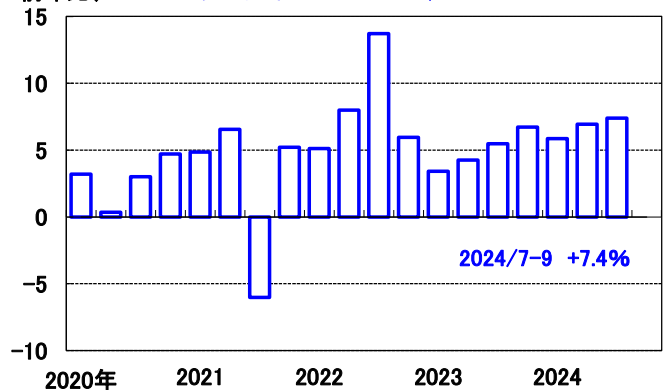
年利、%

金利



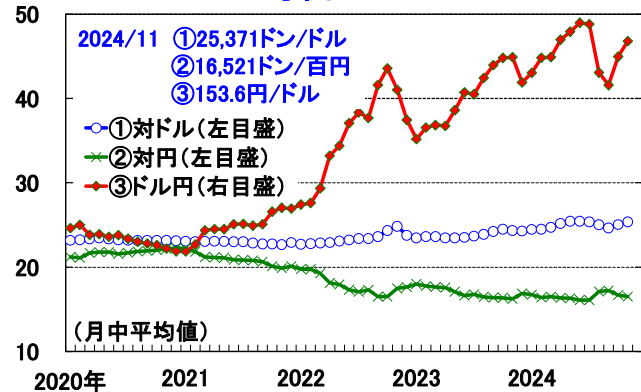
前年比、%

実質GDP成長率



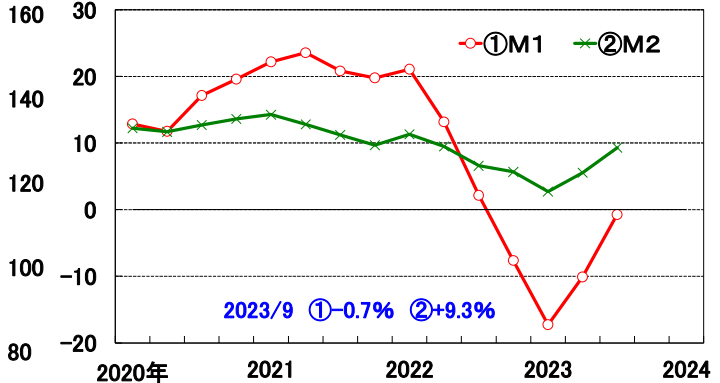
千ドン

為替レート



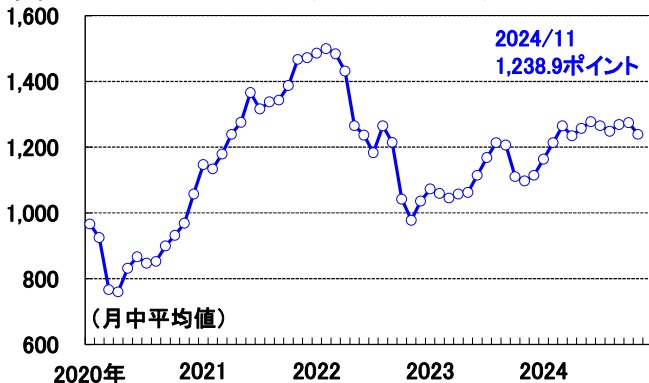
円 前年比、%

マネーサプライ



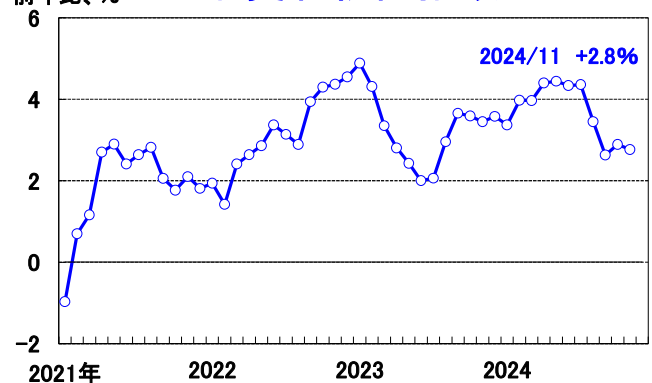
ポイント

株価指数(VN指数)



前年比、%

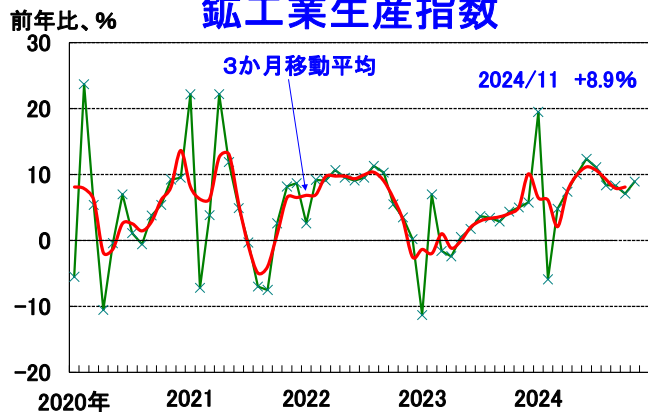
消費者物価指数



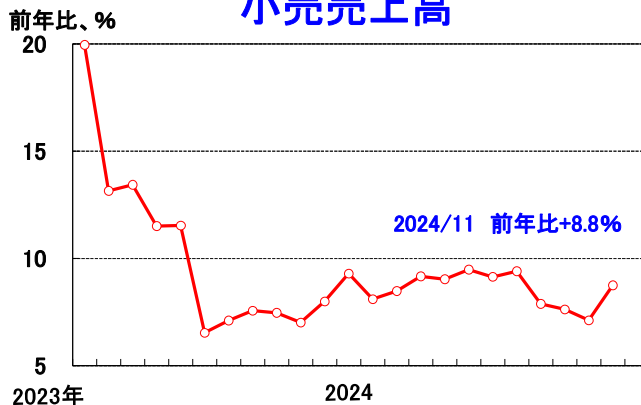
(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

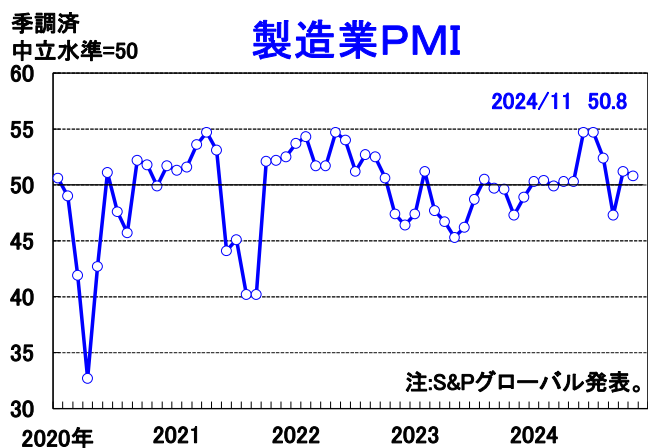
鉱工業生産指数



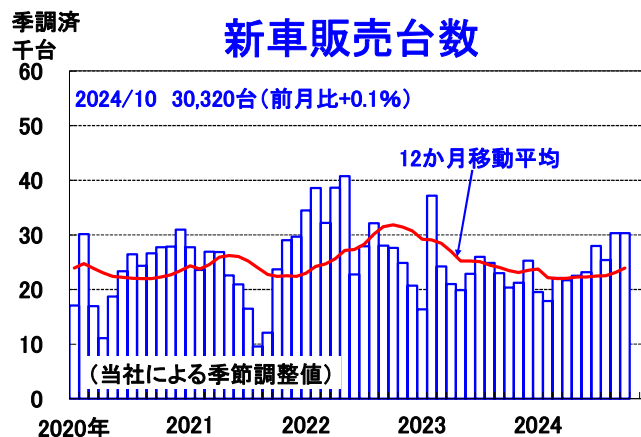
小売売上高



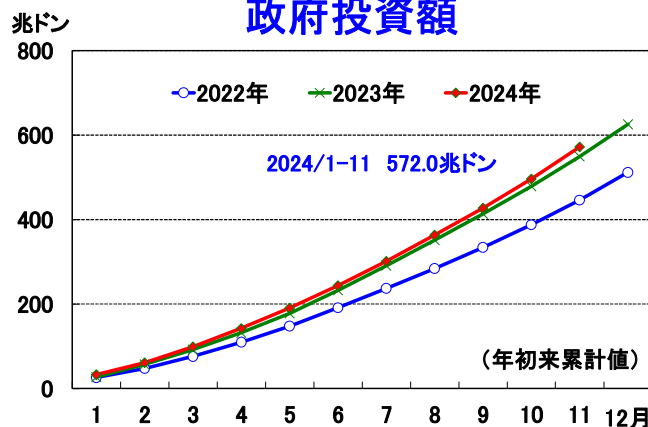
製造業PMI



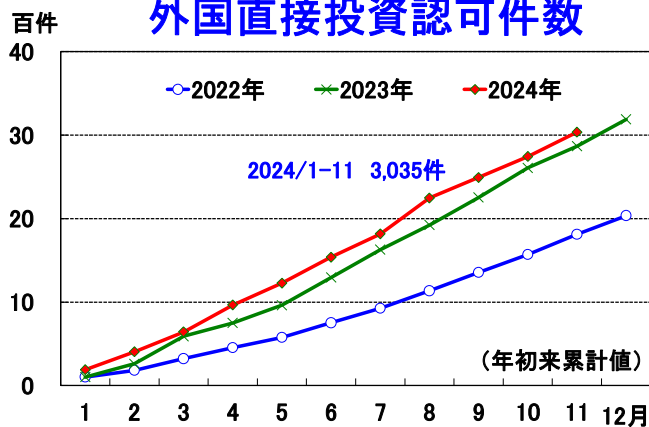
新車販売台数



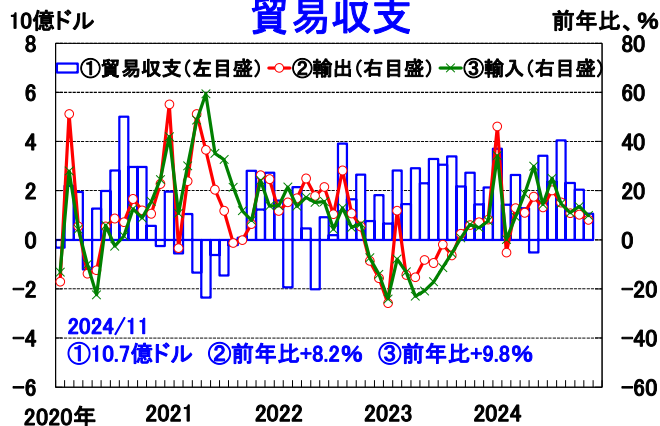
政府投資額



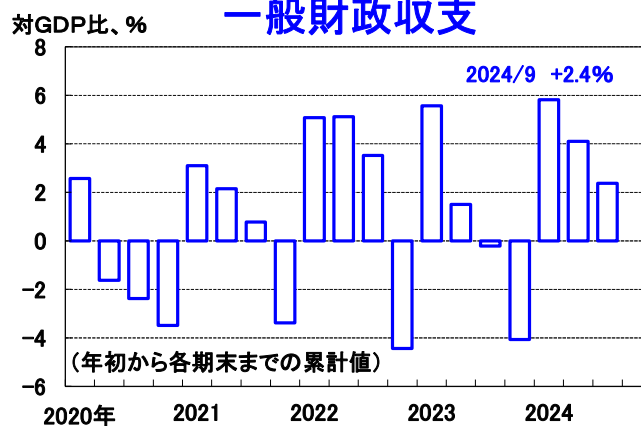
外国直接投資認可件数



貿易収支



一般財政収支



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。